

会議録

会議の名称	令和2年度 第4回加西市総合政策審議会
開催日時	令和2年8月25日(火) 午後2時00分～4時30分
開催場所	加西市役所1階多目的ホール
議長の名 (会長 杉山 武志)	
出席及び欠席委員の名	
<出席委員> ・上田尾 真 ・大野 聖佳 ・岡 和司 ・木下 勇 ・久米澤 稔 ・後藤 直樹 ・杉山 武志 ・谷勝 公代 ・辻田 聡信 ・仁科 崇良 ・濱本 泰秀 ・松岡 勝己	
<欠席委員> ・岸本 達希 ・高見 千里 ・中野 重美	
傍聴者の人数	
一般：3名 報道機関：なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
・ふるさと創造部長 千石 剛 ・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 後藤 伸嘉 ・ふるさと創造部人口増政策課係長 森山 俊幸 ・ふるさと創造部人口増政策課係長 岩野 裕之 ・ふるさと創造部人口増政策課主事 大西 弘晃 ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり推進員 小山 映 ・事務局補助(総合計画等策定支援委託事業者) 1名	
1 議事	
(1) 令和元年度外部評価の結果	
(2) 第1回加西市総合政策審議会の意見・提案等に対する対応	
(3) 基本計画の体系・レイアウト案と検討方法	
(4) 基本計画(基本方針4)の検討	
2 会議資料	
会議次第、出席者名簿、配席図	
資料1 総合計画施策評価一覧	
資料2 外部評価に対する今後の対応について	
資料3 第1回加西市総合政策審議会の意見・提案等に対する対応(案)	
資料4 第6次加西市総合計画《序論・基本構想》(素案)	
資料5 第6次加西市総合計画の基本体系	
資料6 基本計画のレイアウト(案)	
資料7 総合計画評価シート(サンプル)	
資料8 基本計画本文案(基本方針4)	
資料9 基本計画体系図(基本方針4)	
3 会議の経過	
⇒別紙「第4回加西市総合政策審議会の経過」のとおり	

(別紙) 第4回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
<p>会長</p>	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑いところお集りいただき感謝申し上げます。 ・この時期なのでソーシャルディスタンスを確保しながら会議を進めたい。 ・今日の会議のテーマは多岐にわたるうえ、内容的にも深いものとなっている。 ・議事の中では(4)が中心であり、可能な限り基本計画の検討に時間を割き委員の皆様から多くの意見をいただきたいので、(1)(2)(3)についてはどうしても言っておきたいことがあれば発言いただくことにしたい。また、事務局には端的にポイントとなることを説明いただくようお願いしておく。
<p>副会長 事務局</p>	<p>2 委員等出席者の紹介</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 令和元年度外部評価の結果 (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科医の確保は市の総合計画のスタンスとしてわかるが、病院内の検討の議論では盛り込まれておらず、現実にはなかなか難しいのではないかと。 ・市立加西病院への医師の派遣は大学医局からの医師の紹介がメインとなるが、それ以外の様々なルートで医師に来ていただいている例もあり、全く不可能なことではないと考えている。総合内科についても別ルートから来ていただいている。
<p>副会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科医だけでなく小児科医も必要となり、その設備も必要となる。新病院の検討素案の中では触れられていないのが現状である。 ・今までの内部検討としてはそうかもしれないが、市としては、タウンミーティングでも多くの要望意見をいただいております、いかに実現していくのか、市立加西病院若しくは個人の産科という方法も含め、具体化に向けて力を入れるべき課題である。
<p>副会長 会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨地区で産婦人科はどこか一つあればよいというのが実態と思われ、希望的なものではなく、総合計画にはその辺も踏まえ反映させる必要があると考える。 ・総合計画の難しいところであるが、行政側としての意見もあるので、いかに現場の意見を反映して盛り込んでいくかだと思ふ。
<p>会長 副会長 事務局 委員 事務局 委員 会長</p>	<p>(2) 第1回加西市総合政策審議会の意見・提案等に対する対応 (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの審議会で出た意見を基本構想素案にかなりフィードバックされたと感じる。 ・37ページ基本理念の説明に出てくる、関わる人を「巻き込んだ」という表現は何か上から目線であり、協創の考えの基本にある、共に創る、一緒に進める対等な関係ではない感じがするので改めた方がよい。 ・イコールパートナーシップということで、対等の関係の表現となるよう検討したい。 ・よく言われている、きょうそう(共創)は「協創」という字を使っている。 ・ともに協働しながら創っていく意で、加西市の条例では「協創」としている。 ・地域ではこの条例のことを知らない人がいるので、さらに周知が必要である。 ・言葉の使い方には私もこだわりがあり、「まちづくり」という語があちこちに氾濫しているが、ニュアンスとして伝わるのが大切だと思う。37ページの説明の中に4市とあるが、少し詳しく記載したほうがわかりやすいのではないかと。
<p>事務局 会長 副会長 事務局 会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海軍航空隊つながりということで加西市のほか姫路市、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市4市で、空がつなぐまち・ひとづくり事業として平和教育等に取り組んでいるが、説明を追加するようにする。 ・都市計画審議会では都市のスポンジ化のことが議論されていたと思うが、基本構想の土地利用のところでは特にふれられていないがこれでよいかと。 ・37ページの写真は、ピースバルーン号が写っているものがよいと思う。 ・今のものは観光のホームページから取っているので、差し替えを考えたい。 ・何かさらにお気づきの点があれば、後ほど事務局に確認いただくということをお願いしたい。
	<p>(3) 基本計画の体系・レイアウト案と検討方法 (事務局から説明)</p>

会長 副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・前のものよりもかなり分かりやすくなった印象である。 ・内容がてんこ盛りでいっぱいを感じを受けるが、取り組みのところはもう少し現状を丁寧に説明した方がよい。単にやってきたことを並べるのではなく、残されていることが浮かび上がるようにするとよい。また、「市民が取り組むこと」という言い方は上から目線のように感じられ、協創のイメージに合わないのではないかと。
事務局 副会長 会長 副会長 事務局 副会長 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に取り組んでいただくこと等、表現を工夫したい。 ・市民ができることを示すとよいのだろう。 ・市民が関わるところの可能性にふれるとよいのではないかと。 ・現状→課題→取り組むべきことの流れにすれば、読みやすいと思う。 ・現状については、切り口は違うが基本構想でも加西市の状況に触れている部分がある。 ・ほとんどの現状はやっている取り組みの記述で、やった結果の説明部分がない。 ・基本構想のところの記述との対応関係を含め、検討願いたい。
	<p>(4) 基本計画(基本方針4)の検討</p> <p>《政策11 事務局から説明》</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞社の立場から見ると、今コロナがあって住民は地元の情報を知りたがっているように見える。 ・地方紙は地域の情報に力をいれているが、全国紙は地元の情報は流さない方向だと思われる。今後はSNS等ダイレクトに伝える方法に力をいれていくことが大切で、身近な情報提供に力をいれてほしいと思う。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・挿入されているグラフはふるさと納税になっているが、協創のまちづくりの推進との関係は適当なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口が最近よく言われているが、ふるさと納税はそのひとつの尺度となると考える。他に何かよいグラフにできるものがないか検討する。関係人口の定義は、さらに詰めていくこととしている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口は、国が3年ほど前から国が言い始めているが、交流と移住・定住までの中間にあると考えられるが、まだ固まった定義はない。
副会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・指標としては、移住や定住数が一般的だと思われる。 ・関係人口は、加西市のファンになっている人のことで、ずっと住んでいるわけではないが繋がりある人で、協創のまちづくりの指標になる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・関わっている空き家相談の内容からすると、相談者はファンというところからは外れるように感じている。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家相談の対象者はファンというより、もっと地に足の着いたものかもしれない。 ・空き家の場合、「好き」とは少し違う角度の相談である。もちろん、そのようなご要望からの活用もあり得ると思うが。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書は高齢者には難しい言葉が多すぎるので、中身はこれでよいと思うが高齢者にも理解できるよう表現を工夫してほしい。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションやシビックプライドも馴染がないかもしれない。 ・テレビやラジオで接している言葉は、大体のことは誰でも理解できる。総人口の3分の1ぐらいは老人なので、全部は無理としても分かるようにしてもらいたい。
会長 副会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学者は難しい言葉を使いたがる場所がある。 ・イーナカサイとは何か。 ・PRのため、〇〇イーナカサイのような使い方をしているほか、市の情報提供アプリの名称にもしている。神戸市が使っている「BE KOBE」と同じものである。
会長 副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションの総称だが、イーナカサイの言葉を整理していく必要がある。 ・シティプロモーション全体をいうイーナカサイとその事業の一つのアプリの名称もイーナカサイで分かりづらい。
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリと言っても分からない人に、理解してもらうのは難しい。 ・施策31のイに地域活動家の育成とあるが、市の主導なのか。市民ができることで、意見の発信はしにくいと思われるがどのような方法があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の発信は広聴の話のように思われるが、NPOや地域活動家の育成の具体の取り組み等は、一つ下の事業のレベルで実施計画に書き込んでいくことにしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市の外向きの取組では、ふるさと納税はもっとアピールした方がよい。市内には優良企業が多いし、高校卒業まで多くの費用を市はかけているのに、いざ税金を納める時は東京になっているのが現状である。少しお金をかけても、取り戻せるぐらいにするとよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響もあって生活や仕事など様々なことが変わっていく中で、東京から地方への流れが出てきている。関係人口を増やすため加西市への呼び込みにあたっては、例えば市民のインフラを徹底的にやるとか、コロナをチャンスと捉えて具体的にやるこ

会長	<p>とを示すべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体として生活スタイルが変わっていく中で、働き方が注目されているのでこの辺りを具体的に書くとよいと思う。
副会長 事務局 副会長 事務局	<p>《政策12 事務局から説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の参加割合のグラフは市だけが対象か。 ・管理職数は病院を含めた市役所のもので、主幹・課長以上が管理職である。 ・加西市の管理職は130人のうち、39人が女性ということか。 ・病院も入れての数字であり、市役所本体では約70人のうち5名が女性なので、割合としては低い数値になる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・このグラフが適当なのかよくわからないので、表現の仕方も含めてさらに検討が必要である。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し相応しいものがないか検討したい。 ・この計画は誰向けにつくられるのか。市民がこれを見てまちづくりに参加することが目的ではないのか。市民の取り組みのところで、外国人住民と積極的に関わりを持つとあるところはわかりにくいので、例えばあいさつ、やさしい日本語の使用など具体的にすべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との接触について、コロナの関係で客室乗務員や旅行代理店など観光関係は暇な状態だが、日頃から外国人と応対に慣れているので、多文化共生の仕事に関わってもらうことを考えるとよいのではないか。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大切なご指摘かと思うので、是非検討いただきたい。 ・学校では人権学習に取り組んでいるが、現在、休業等で家にいる機会が多い中これから取り組まないといけないDVとか虐待の継続的な支援をお願いしたい。
副会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・指標に関して、NPO法人の活動参加人数のところは把握しているのか。 ・今後検討していくことだが、NPOのうち、地域交流センターの登録団体の参加人数は把握可能である。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人を支援して活動を広げていくことが本来の目的ではないのか。ちょっと違う感じがする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・端的に示す指標がないか、その他を含めて今後検討したい。女性の管理職の人数についても市役所だけでなく企業を含めるのはどうか、また自治会等の役員などについても。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人とするとハードルが高くなるので、NPO法人だけでなく団体を幅広く捉えるとよい。
副会長 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる参加人数はあまりよくない。 ・LGBTへの対応は入れるべきである。 ・挿入されているイラストの著作権は後々問題になるので確認しておくとうい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の差別意識は、若い人ではなく老人が問題であり、高齢者への人権教育が課題だと思う。現在の年1回の人権セミナーではまだまだ足りないので増やすことを考えないといけない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・上から目線とならないよう、本当に市民の目線に立っていただきたい。例えば、マスクはどういう時に外すのかといった、気遣いも忘れないようお願いしたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・こういうご時世なので、市民への気遣いの姿勢を持って対応する加西市を目指すことが大切で、人に対する配慮、気配りへの貴重なご意見だと思う。
委員	<p>《政策13 事務局から説明。経常収支比率、実質公債費比率についても補足説明。》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとビジョンとして改革すべきものを打ち出すべきだと考える。現路線の延長ではなく、大きく方向性を変えるものを見せるようにすべきである。これからの10年で大きく変わっていかなければならない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの中で働き方改革は大きな要素なので入れるべきである。人員削減はもう限界ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市でもようやくRPAに取り組むようになったが、余裕が生まれた部分は市民サービスの向上に振り向けることができ、働き方改革にもつながるもので進めていく。
会長 副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜそうしていくのかという部分が読み取れるように改善が必要である。 ・人口が減っていく中で、行政もスリムにしていく必要があるが、人員を削ってもサービスを落とさないようにするためには電子化は欠かせず、方向性を示す必要がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・部会でデータを示してもらったが、加西市の人口当たり職員数は全国的にも少ないようだが、何を削減するのかは検討の余地がある。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今と同じことを続けていくことは難しい。事業を減らしていく検討が必要で、お互い身を切っていくといけないのが現状である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の精査とスクラップアンドビルドが必要で、職員にも夢が持てるような前向きな視点、施策が求められる。

事務局 副会長 委員 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスの削減はなかなか難しい面がある。 ・そこは「協創」の取り組みなのだから、市民にも理解していただくところだと思う。 ・知らない仕事をやっていないか、改めて業務内容の精査、見直しが必要である。 ・市民のよりよい暮らしのためのサービスの実現に向けて、一方ではそれをサポートする職員の働き方の改善が課題である。
委員 事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の活用で、リコージャパンとの連携などを見せるとよいので、具体的に書き込んではどうか。 ・具体の会社名を出すのは難しいが、取り組みは出せる。 ・空き家活用推進の団体を運営しているが、公共施設の維持管理のところ、大きな修理とならないうちに手抜きなく日頃のメンテナンスをこまめに実施するのが肝要である。また、ストックの活用には時代はシフトしていて、古い建物も用途変更してうまく使っていく例もみられるので検討願いたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想の土地利用にも関連することだがストック活用は最近言われていることなので、盛り込めないか検討してほしい。
委員	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料送付をもっと早くしてほしい。当日配布の資料の中に非常に重要なものも含まれており、じっくり目を通して中身の濃い議論をしたいので、できるだけ早い送付をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料については、次回以降はできるだけ早めにお送りできるよう努めるようにする。
副会長	<p style="text-align: center;">閉 会</p> <p><副会長あいさつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が少ししゃべりすぎたかもしれないが、委員の皆様お疲れ様でした。 ・審議会メンバーは5年、10年後の加西のために真剣に取り組んでいるので、限られた時間の中でしっかり議論を行うため、早めに資料を送っていただくようお願いする。 ・委員の皆様には次回も事前に資料を読み込んでいただいて、加西の未来に向けた議論となるようよろしく願います。
	<p>※次回は9月28日9時30分から健康福祉会館で開催</p>